

かけがえのない盛岡市議5議席を必ず勝ち取り 達増県政の継続発展とその推進力の共産党斉藤県議の議席確保を

皆さん、こんにちは。日本共産党の県議会議員・県議団長の斉藤信でございます。

8月6日の盛岡市議選の告示まで1か月を切りました。かけがえのない盛岡5人の議席を何としても勝ち取らせてください。市民の願いをまっすぐ市議会・市政に届けてきた宝の議席です。どうぞよろしくお祈りします。

市議選に続き連続的にたたかわれる知事選挙は、県民・市民の暮らしを守るうえでも、大軍拡大増税の自民党政治の流れを変えるうえでも特別に重要な、全国的意義を持つ選挙戦です。自民党による県政奪還の野望を許さず、達増県政の継続発展を勝ち取らせてください。

県議会議員選挙では、達増県政を県民の願いで前に進める日本共産党の私、斉藤信を県議会に押し上げていただきますようよろしくお祈りします。

6月議会で大きな成果—健康保険証廃止の中止求める意見書を採択

昨日閉会となった6月県議会で、大きな成果がありました。いま全国で大問題となっているマイナンバーカードの問題で、「健康保険証廃止の中止等を求める」請願と国への意見書が採択されました。全国都道府県議会では初めてです。民青同盟やレインボーマーチ、新婦人の皆さんが提出した「LGBT理解増進法」の改正を求める請願も採択されました。全国に誇る成果です。今日の赤旗一面トップで紹介されました。岩手日報も1面で報道しています。党県議団が、6月議会に向けて労組、民主団体と相談して請願が提出されたものです。県民との連携、共同の成果です。

達増県政と日本共産党県議団の全国に誇れる実績

私の話は、皆さんにお渡ししている県議ビラに基づいてお話しします。

県議ビラで私と達増知事とのツーショットの写真を前面に押し出しているのは達増県政の継続発展を勝ち取る日本共産党の決意を示したものです。

日本共産党県議団は、県民の願いを県政に届ける建設的な論戦で、達増県政を前に進める大きな役割を果たしてきました。6254人の犠牲者となった東日本大震災津波からの復興では、11年間にわたって**被災者の医療費免除を継続実施**させました。全国から注目された被災者の命と暮らしを守る取り組みでした。

達増知事は、「被災者一人一人の幸福追求権を保障する」という憲法13条の立場で復興に取り組みました。

達増県政はこの教訓を生かし、「だれ一人取り残さない」の立場で、最も困っている方々に、いち早く対策を講じる取り組みを進めてきました。

今、最も切実な**物価高騰対策**では、昨年度も今年度も全国に先駆けて「原油高・物価高騰対策」を打ち出して取り組んできました。昨年度は、子育て世帯の支援に力を入れました。子ども一人当たり1万5千円、市町村と共同して盛岡市も1万5千円、合わせて3万円の

支援を2回実施しました。中小企業、農林水産業への支援、介護施設と医療機関への支援も行いました。今年度は4月28日の臨時議会でLPガス高騰分への支援など48億円余、昨日閉会した6月議会で13億7千万円余の中小企業支援策を打ち出しました。

県議団は、議会前に達増知事に物価高騰対策の具体的な提言・申し入れを行ってきました。知事はそれを受け止めて対応しています。

酪農危機対策では、乳牛1頭当たり1万円の補助、配合飼料はトン当たり2000円の補助と去年の倍の支援策となりました。

子育て支援では、昨年度の支援策に続いて、今年度から、第2子以降の保育料の無償化、在宅保育への月1万円の支援金を所得制限なしで実施しています。これは大分県、東京都、岩手県の3都県が実施している全国トップクラスの取り組みです。保育料の無償化と在宅育児支援をセットで実施しているのは岩手県だけです。

子どもの医療費助成は33の全ての市町村が高校生まで助成を拡大しました。これを受けて県は8月から高校生までの現物給付化を実施します。新潟県、茨城県、東京都、静岡県、鳥取県に続いて全国で6番目の取り組みになります。

新型コロナ対策では、昨年10月からの第8波で、感染者が12万6千人、死者が430人と急拡大しました。全国で一番医師が足りない岩手県で、全国一の県立病院のネットワークで入院患者の約7割を受け入れました。市立病院等の公立・公的病院を含めると95%の患者を受け入れました。達増知事は2月議会の知事演述で、「県民の命と健康を守るため、引き続き、医療局に200億円を繰り出します」と言明しました。党県議団の提案で無料のPCR検査が実施され、高齢者施設での定期的検査は今も実施されています。

皆さん。県議ビラでは、盛岡選挙区選出の10人の県議のこの4年間の発言回数をお知らせしています。私の発言回数は1418回、ダントツの発言回数です。県民の皆さんの声、願いをこれだけ県議会に、県政に届けて、達増県政を前に進めてきた証明ではないでしょうか。

達増県政と党県議団の全国に誇る実績を広げ、知事選・県議選を必ず勝たせてください。

達増県政をさらに前に進める日本共産党の公約

今度の選挙戦で、日本共産党は、達増県政をさらに前に進める公約を掲げています。私の県議ビラをご覧ください。

子育て支援では、「3つのゼロ」の実現をめざします。一つは、子どもの医療費の完全無料化です。所得制限、一部負担をすべての市町村でなくしましょう。二つ目は、保育料の無償化です。すでに宮古市など13の市町村が無償化しています。三つめは、学校給食費の無償化です。陸前高田市など10市町村が無償化しています。県内でも新たな流れが広がっています。全国トップクラスの子育てをさらに前に進める県政を実現しましょう。

高齢者を大切に「3つの安心」を実現します。一つは、年金では入れる特養ホームの増床と待機者の解消です。二つ目は、加齢性難聴者への補聴器購入への補助実現です。久慈市、釜石市など6市町村が実施しています。認知症予防の大切な取り組みです。三つめは、物価上昇に見合う年金の引き上げです。すべての地方議会から声を上げ、国を動かして実現をめざします。

自民党丸抱えの知事候補の実態—県民の願いにことごとく反対

最後に、大軍拡大増税の自民党丸抱えの知事候補、女性前県議の実態についてお知らせします。県民の願いを込めた請願—「最低賃金の引き上げ」「減らない年金の実現」「原発処理水の海洋投棄に反対する」請願等にことごとく反対してきました。私が驚いたのは、自民党でさえ賛成した「私学助成の拡充を求める請願」に反対したことです。「防衛費を GDP 比 2% 以上に大幅増額することに反対する請願」にも反対しました。

女性前県議の公約で、一番危険だと思うのは、学力向上の名のもとに「全学力テストを全国平均点以上に引き上げる」としていることです。6月議会の文教委員会で取り上げましたが、こんなことをしたら学力テストのために授業がゆがめられ、競争が激しくなり子どもたちを苦しめてしまいます。

大軍拡大増税の悪政にもものが言えず、県民の願いに背を向ける冷たい政治家に県政をゆだねることは絶対に許されません。沖縄知事選のように、オール岩手の県民の幅広い共同をつくり、必ず知事選に勝利しましょう。達増県政のかなめ、推進力—共産党の3議席を絶対確保させてください。全力で頑張りぬきますどうぞよろしくお願ひします。